

国際政治

199

国際政治研究の先端 17

日本国際政治学会編

オーストラリアとアンザス危機（一九八四—一九八六） 玉水玲央

イギリス帝国の終焉と現地の危機 篠崎正郎

腐敗防止の国際規範とロシア 油本真理

フォード財団と一九五〇年代のアフリカを巡る冷戦 奥田俊介

サッチャー政権初期イギリスと欧州政治協力 粕谷真司

<特別連載>

序章 日本の国際政治学——仕切られた対話からの共創？ 大矢根 聡

第一章 日本国際政治学会の安全保障研究 泉川 泰博

第二章 日本における国際政治経済研究の特徴と課題 和田 洋典

第三章 日本の国際政治学における日本外交史 井上 正也

第四章 日本におけるアメリカ政治外交研究と『国際政治』 上村 直樹

<書評論文>

なぜ思想史か——二〇世紀前半の今日性 西村 邦行

戦前期の日本外交はなぜ一貫したか 中谷 直司

グローバル・ガバナンス研究の最先端 毛利 勝彦

<書評>

権赫泰著、鄭栄桓訳

『平和なき「平和主義」』 清水 耕介

清水聡著

『東ドイツと「冷戦の起源」1949～1955年』 妹尾 哲志

2020年3月刊